

危険な場所でも無人化施工で“ゼロ災”に

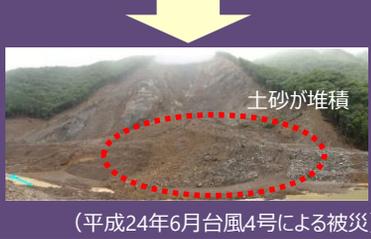
～紀伊山系砂防事務所～

平成23年の紀伊半島大水害により発生した河道閉塞箇所の一つである赤谷地区では現在、崩壊斜面直下で溪流保全工の整備を行っています。

赤谷地区の崩壊斜面は過去に降雨による再崩落が発生しているため、崩壊斜面の周辺では出水期間中（6月15日から10月31日まで）は人の立ち入りを禁止しています。このため立入禁止期間でも工事を円滑に進めるため、安全な場所から遠隔操作で建設機械を操作する「無人化施工」を実施しています。



赤谷地区では、過去に大規模な土砂再崩落が発生しています



安全な場所から遠隔操作で工事を進めています！



モニターを見ながらコントローラーで操作します



実際の建設機械に乗っている感覚での操作も可能です

無人化施工は、炎天下の現場作業も減らし現場の環境改善にも貢献します。

全国安全週間とは？

労働災害を防止するために、厚生労働省において、7月1日（土）から7日（金）までを「全国安全週間」と定め、各職場における巡視やスローガンの掲示、労働安全に関する講習会の開催など、さまざまな取組を実施します。紀伊山系砂防事務所においても、ゼロ災害を目指し、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くために様々な取組を実施します。

今年度のスローガンは「**高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場**」です。

